

〈企画展〉

# くらしの用具 曲げとくりもの

昭和60年10月26日(土)～12月1日(日)  
山形県立博物館

ひく  
(山形系こけし)



くる  
(庄内杓子) ぬる



まげる (鶴岡曲物)



くる  
(切畑臼)



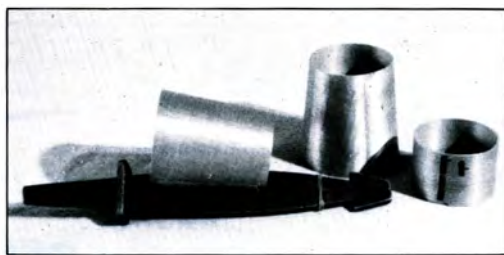
## 山形の曲げとくりもの

木製の器には、木を薄くそぎ、曲げ合わせた曲物や、木を掘り窪めたくり物などがあります。くり物は、ロクロを使って挽いた木地物と手掘りのものに分けられます。

曲物は檜物とも呼ばれ、檜物町（曲師町）は江戸時代から明治にかけて、山形市や酒田市、鶴岡市などにみられました。山形の檜物町について、『山形風流松木枕』（玉井本）には、「此所ら檜物町とて、指物・手桶・手箱・長命草盆・ひしゃく・まげ物奇麗に致し、あの手早キ事御覽候へ、二六時中鉦・鋸の音のみ耳を驚かし、姦敷事そかし」と紹介されています。曲物は近年まで盛んに製作され、昭和16年第2回東北民芸展では、酒田の田畑久作氏の曲物抹茶碗入箱が特選になりました。

しかし、需要の減少により、昭和40年前半、田畑久作氏や鶴岡の長南憲吉氏が没すると、県内の曲物も急速に姿を消してしまいました。

県内の木地挽きの歴史は明らかではありませんが、小国町・小椋銀右衛門家には、繪旨、免許状、惟喬親王縁起、白川一件関係文書などの「木地屋文書」を揃えています。小椋家の祖は、嘉永年間、



曲物と曲物作りの道具

現存する木地物で、年代の明らかなのは、舟形町堀内字松橋・三蔵院に伝わる元龜3年（1572）奉納の饌米鉢です。墨書銘には「松橋村」とみえ、当地の木地師が納めたものとも考えられます。室町期の木地師の存在を示す貴重な資料といえます。朝日村本郷・河内神社には作占に使用する高杯が残っていますが、その15個の底部には「元禄三年午ノ正月」の銘がみられます。朝日村下名川・円秀寺仁王堂に伝わる元文5年（1740）の饌米鉢には、「奉納 大針村 松之助」と記されています。大針村については、宝暦12年（1762）編の『羽羽国風土略記』田川郡産物に、「大針木地」と記され、古くから木地挽きを業とする村であったことが窺えます。また『朝日村誌 神社誌』は、旧本郷村（朝日村）の神社には大鉢がよく見られるといっています。特に、中砂川の八幡神社に奉納された木鉢には「羽前庄内田川郡 串引通本郷組大針 菅原半次郎奉納 諸願成就所」と記されており、氏は明治から大正にかけて木地を挽いた、同地の菅原半左衛門氏の子孫に当たるともいわれます。また、先の円秀寺には、天保14年（1843）奉納の塗りの大筒鉢も残っています。

ロクロを使用しないくり物には、木鉢や臼など大型のものが多い。天保5年（1834）板行の「新庄御国産名物尽」には「大沢臼」が紹介されており、大沢村（真室川町）の臼作りは有名でした。また、山形市切畑の臼作りや、朝日村と鶴岡市の庄内杓子の製作は長い伝統を持ち、今日も作り続けられています。

昭和8年、新庄に作られた「積雪地方農村経済調査所（雪害調査所）」は、積雪地方農漁村の経済更生計画等の調査研究指導を行い、その指導で作られた様々な木製品は、県立博物館に収められています。しかし今日、伝統的な曲物やくり物の製作はほとんど姿を消してしまい、木地玩具や庄内杓子、切畑の臼などが作られているにすぎません。



往来手形（木地屋文書の内、文化10年）

信州から大石沢村（小国町）口黒の地に移り住んだといわれます。その後赤沢に移りましたが、当地は戸数4戸だけで、すべて小椋姓を名のり木地挽きを業とする集落でした。

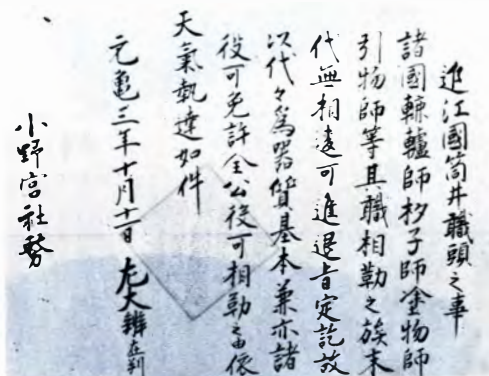
『村史なかつがわ』によれば、文化年間（1806～1817）広河原村（飯豊町）東俣に4軒の木地屋があり、2万7000具の木地製品を製造していました。文化5年の「米沢藩産業御改帳」には、岩倉村（飯豊町）の特産物に対する賦課の1つに、木地椀1万2000箇（180貫）がみられます。また、飯豊町下屋地から本館に寄贈された木地盆には、「下谷地 天保十三年十一月 榎御蔵」と記されています。この様に、旧中津川村（飯豊町）周辺には、木地挽きを業とする集落が各地にみられました。

— ひ く —

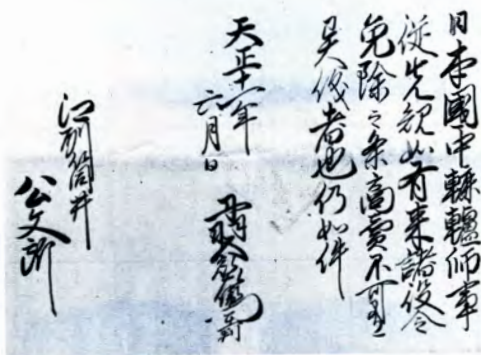
円筒状の軸を回転させ、軸先に原木をつけカンナなどの工具で削ると、円形の木地ものができ上ります。このロクロ挽きも、時代と共に変わりました。古くは、一人が軸の引き綱を回転させ、もう一人が挽いた「手びき」でしたが、明治18年「足踏みロクロ」が東北地方にもたらされ、作業は一人だけで行うようになりました。現在は人力を必要としない「動力ロクロ」だけになっています。「こけし」などは、今日もロクロで作る代表的なものです。



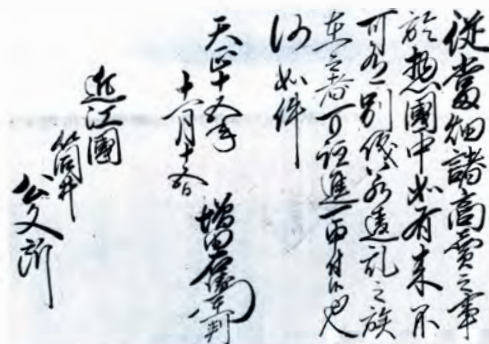
伝朱雀天皇御諭旨写(承平5年)



伝正親町天皇御諭旨写(元龜3年)



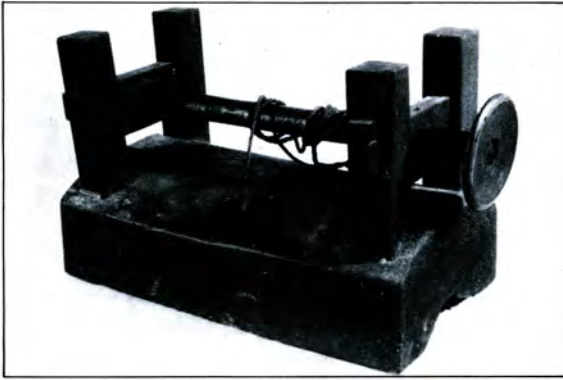
伝織田信長免許状写(天正11年)



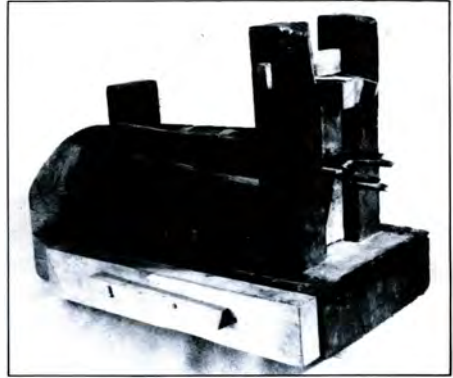
伝豊臣秀吉免許状写(天正15年)



惟喬親王縁起



手まわしロクロ



足踏みロクロ



せんまいばら  
饅米鉢(舟形町・三蔵院 元龜3年)



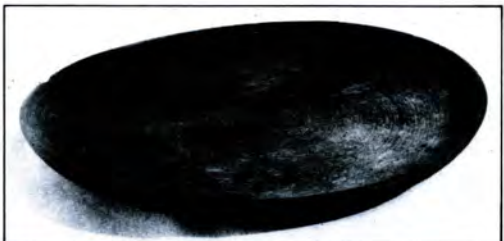
せんまいばら  
饅米鉢(朝日村・円秀寺仁王堂 元文5年)



たかつき  
高杯(朝日村・河内神社 元禄3年)



おつばら  
大筒鉢(朝日村・円秀寺 天保14年)



盆(飯豊町 天保13年)

— く る —

ロクロを使用せず、チョウナやマサカリ・ノミなどを用いて掘ったくり物には、大型のものがみられます。中でも、米や餅を搗く臼、粉を練ったり料理を盛る木鉢などは代表的なものです。その反面、ロクロを挽かずに作る、杓子などの小さなものもありました。「庄内杓子」や「切畑の臼」などは、今日も作られている数少ないくりものの一つです。



シオブネーにがりとりー



蠟臼（山形市）



ひき臼台（山形市）

— まげる —

曲げものは、良質の杉やヒバ・ヒノキなどを薄くそぎ、熱湯で柔らかくして曲げ、桜の皮などで縫い合わせて作りしました。曲げものは実に多方面に用いられ、弁当箱をはじめ、フルイやセイロ、食物を盛り運んだホカイ、漬んだ青苧を入れたオボケなど、私たちの身近に沢山ありました。製作地も県内各地にみられましたが、需要の減少により、近年までみられた鶴岡市や酒田市の曲げものも姿を消してしまいました。温海町に伝わる作占の行事「ワッパ舞」は、ワッパ（曲物の容器）に米を入れて舞う独特なものです。



弁当箱



手桶（飯豊町）

# 主な展示資料一覧

	資 料 名	所 蔵 者		資 料 名	所 蔵 者
	〈ひ 〉				
1	伝朱雀天皇御輪旨写(承平5年) 軸物	小国町・小椋銀右衛門氏	45	コネバチ	本館(高島町・鏡宮勢氏寄贈)
2	伝正親町天皇御輪旨写(元龜3年) "	"	46	ハンゾウ	" (飯豊町・渡部茂七氏寄贈)
3	伝織田信長免許状写(天正11年) "	"	47	引臼台(幅59.0cm 高12.0cm 長66.0cm)	" (山形氏・佐藤長蔵氏寄贈)
4	伝豊臣秀吉免許状写(天正15年) "	"	48	塗り鉢	" (山形市・奥山吉右衛門氏寄贈外)
5	惟喬親王縁起写(承久2年) "	"	49	火鉢枠	" (飯豊町・渡部茂七氏寄贈)
6	素鑽表紙命記 "	"	50	シオブネ(幅50.0cm 高26.0cm 長58.0cm)	"
7	碗器元祖小野宮惟喬親王略伝記	"	51	庄内杓子	鶴岡市・進藤喜代子氏
8	往来手形(文化11年)	"	52	根つき舟	真室川町立歴史民俗資料館
9	" "	"	53	根たて舟	"
10	" "	"	54	温飯櫃	本館(飯豊町・伊東用吉氏寄贈)
11	差上申一札之事(白川一件)(文化4年)	"	55	食籠	" (山形市)
12	申渡(木地師定)(安政4年)	"	56	蠟白	" (山形市・鈴木新三郎氏寄贈)
13	手まわしロクロ (幅31.0cm 高37.5cm 長59.0cm)	小国町教育委員会	57	米搗臼	" (山形市・揚妻幸昭氏寄贈外)
14	足踏みロクロ (幅26.5cm 高28.0cm 長54.0cm)	本館(山形市・小林清次郎氏寄贈)	58	粉搗臼	" (尾花沢市・近藤一雄氏寄贈外)
15	法隆寺百万塔	本間美術館	59	餅搗臼	" (真室川町・佐藤陸三氏寄贈外)
16	糯米鉢(元龜3年)(径41.0cm 高15.0cm)	舟形町・三蔵院	60	墨壺	天童市・荻野幸子氏
17	糯米鉢(元文5年)(径26.5cm 高12.5cm)	朝日村・円秀寺仁王堂	61	流しマナイタ(朝鮮産)	本館
18	高杯(元禄3年)16個(大 径16.5cm 高9.0cm、小 径12.0cm 高7.0cm)	朝日村・河内神社	62	薬研	" (米沢市・菊地春夫氏寄贈)
19	大筒鉢(天保14年) 2個(径19.5cm 高14.5cm)	朝日村・円秀寺		〈まげる〉	
20	若連中会席膳 一式	小国町・佐藤清吾氏	63	七つ鉢(径35.5cm 高17.0cm)	天童市・荻野幸子氏
21	アラホリチョウナ	"	64	塗り柄杓	"
22	ナカボリチョウナ	"	65	ホカイ(幅32.0cm 高32.0cm 長52.5cm)	"
23	木地碗(山形県朝日中央工場 昭和14年11月品評会出品)	本館	66	曲物作り道具 ハサミ	本館(鶴岡市・長南憲吉氏寄贈)
24	木地盆(天保13年)(径36.0cm)	本館(飯豊町・渡部茂七氏寄贈)	67	三方	" ( " )
25	木地杓子	"	68	火鉢	" (酒田市・田畑久作氏作)
26	蠟燭立て	" (西川町・志田栄氏寄贈)	69	湯桶	" (羽黒町・早坂真寿美氏寄贈)
27	菓子鉢	"	70	カストリ	" (飯豊町・男鹿秀氏寄贈)
28	刻み煙草入れ	" (天童市)	71	煙草入れ	" (中山町)
29	玩具 入れ子(大正9年)	" (山形市・尾形利吉氏寄贈)	72	印籠	" (高島町・菅野利一氏寄贈)
30	飯膳(昭和13年 朝鮮産)	"	73	手桶	" (飯豊町・渡部茂七氏寄贈)
31	飯櫃(昭和13年 朝鮮産)	"	74	蒸籠(大正15年)	" (山形氏・福島坦氏寄贈)
32	ハッカ入れ	西川町・志田栄氏	75	フルイ	" (飯豊町・男鹿秀氏寄贈)
	〈く る〉		76	榎通し(明治43年)	" (中山町・川瀬勇喜氏寄贈)
33	庄内杓子作り道具 チョウナ	朝日村・荒木利一氏	77	オボケ	" (米沢市・飯豊町・西川町・尾花沢市)
34	" カンナ	"	78	タンボウ(酒器)	" (高島町・鏡宮勢氏寄贈)
35	" ナタ	"	79	盆	"
36	" マエガンナ	"	80	ツゲ	" (温海町・佐藤厚氏・今野利左衛門氏寄贈)
37	" セン	"			
38	" 中掘りカンナ(機械用)	"	81	ゴロピツ	" (中山町・大津忠宣氏・鶴田勇市氏寄贈)
39	白作り道具 ウスホリマサカリ	山形市・鍵水九左衛門氏	82	浜弁当	" (酒田市)
40	" ハヒロ	"	83	マルメンツ	" (高島町・小浅源助氏寄贈)
41	" テホリ	"	84	ワッパ	" (東根市・武田一男氏寄贈)
42	" ソコトリ	"	85	曲げワッパ	" (蛙川村・安彦安吉氏寄贈外)
43	" マエジョウナ	"			
44	洗とり鉢(52.5cm×53.5cm)	天童市・荻野幸子氏			